

ラヤバディのブティックで アーケード・オブ・アート展示会を開催

2009年11月



タイ南部、クラビの隠れ家リゾート、ラヤバディ初の試みとして、厳選されたアンティークとコンテンポラリー・アートを集め「アーケード・オブ・アート」と称した、才能ある芸術家によるオブジェの展示会をリゾート内の「ギャラリー」ブティックにて開催しています。この展示会は、地元の伝統工芸品とクリエイティブな作品を選びすぐり、精巧で幅広いコレクションを実現し、2009年11月15日にオープン。2010年2月28日まで開催されます。

展示作品は、タイ国内の精度の高い伝統技術をもつ職人から、将来有望な若き奇才まで様々なアーティストが手がけたものに加え、著名な国際的作品まで多岐にわたります。伝統を守り、文化遺産を誇りに思い、ディテールにこだわり続ける価値観は、展示されているすべての作品に、作者の年齢、世代を問わずこめられています。

タイを代表する2つのアンティークコレクション、ネオルドとラモンの希少なコレクションには昔日の魂が宿っています。この両コレクションからも「アーケード・オブ・アート」に作品が提供され、ネオルド・コレクションは、奉納額、経典、儀式用具など金箔と漆塗りの宗教的なアイテムに加え、シルク織りの家具、アンティークの壺など家財道具をラヤバディのギャラリーに惜しみなく提供しています。アレクサンダー・ラモンは永遠の伝統を守りつつ繊細なコンテンポラリー・アートで国際的に知られるデザイナーで、彼のコレクションよりアンティークの彫刻と仏教アートなど、希少な美術品が提供されています。

一方、現在の魂は、タイのコンテンポラリー・アート&デザインをリードするアーティストたちが集ういくつかのグループの活動に宿っています。ジュエリーデザイナーのジョージェマとサプランはタイを代表するコンテンポラリーデザインの旗手と言えるでしょう。ジョージェマの最新作品「チェックメイト」コレクションは、ゴールドと黒のロジウムとスワロフスキーのクリスタルを用い、伝統工芸へ敬意を表しつつ“おちゃめ”な楽しさを盛り込んだ作品です。

ラヤバディのユニークなデザインとスタイルをプロデュースしてきたデザイン・ディレクター、ヴィチャダ・シタカリン氏は、今回の試みを過去と現在を結ぶリンクを祝す展示会ととらえています。また、彼女は次のようにコメントしています。「ラヤバディ・ブティックでは、常に世界各地より最良のコンテンポラリー・アートを厳選し、ゲストにお届けしてきました。そして多くのコンテンポラリー・アート作品が過去の芸術的伝統と強い絆を持っています。



そこで私たちは、アンティークのアート(過去の作品)とコンテンポラリー・アート(現代の作品)を融合させて紹介することで、芸術家や職人が時を超えて受け継いでいる価値と共有している価値にハイライトできると考えました。」

ラヤバディ・ブティック・コレクションは、ラヤバディを囲む美しい自然環境からインスパイヤーされた色調と質感を取り入れており、美しい織物、漆塗りの器、インテリア小物、ウエア、ジュエリーなど、2,000点を上回る貴重なアイテムを揃えています。ブティックおよび展示会は午前8時より午後8時までご利用いただけます。

ラヤバディについて

タイ南部のクラビの中心、プラナン半島に位置するラヤバディは、生い茂る椰子の木、石灰岩の断崖、そして透き通った美しいアンダマン海の3つのビーチに囲まれた26エーカーのトロピカルガーデンの中に98棟のパビリオン、4棟のビーチフロント・ヴィラが、点在する隠れ家リゾートです。

当リゾートの4つのレストランではいずれもユニークなセッティングで、種類豊富なグルメ・キュージーヌを提供します。また、ラヤバディ・スパでは、タイで古代から伝わる治癒の手法を取り入れた多彩なヒーリング・トリートメントをお楽しみいただけます。ラヤバディでは、スピードボートやアンティークのサイアム・ジャンクボートでの近隣の島巡り、無料で楽しめる様々なウォータースポーツから、世界中の愛好家が集まるライレイ湾でのロッククライミングまで冒険的なアクティビティを多数ご用意しています。

ラヤバディに関する詳細は <http://www.rayavadee.com/> をご覧下さい。

